

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9
TEL: 03-3259-3111(代表)
www.ms-ins.com

2023年11月24日

＜公益財団法人 三井住友海上福祉財団＞ 2023年度「研究助成」および「三井住友海上福祉財団奨励賞」を決定

MS&ADインシュアランスグループの公益財団法人 三井住友海上福祉財団（理事長：柄澤 康喜）は、2023年度の研究助成として応募総数135件のうち35件を決定し、11月28日（火）に贈呈式を開催します。また、優れた著作・論文に対して贈呈する「三井住友海上福祉財団奨励賞」として論文1点を同日に表彰します。

当財団では、「交通安全等分野」「高齢者福祉分野」の2分野で研究助成を実施しており、今年度は総額3,525万円を助成します。加えて、海外（タイ、台湾）でも応募総数17件のうち8件の助成を決定しました。

今年度の研究助成は合計43件、総額4,037万円となります。当財団設立以来の累計助成対象は2,320件、総額25億9千3百万円となります。

1. 2023年度贈呈式の概要

- 開催日時 : 2023年11月28日（火）15:30～18:00
開催場所 : 住友会館（東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー42階）
出席者 : 助成対象研究者、内閣府、選考委員、財団役員、友好団体等 合計 約65名
記念講演 : <交通安全等分野>
「外傷後の神経回路修復手法の開発」
島根大学 医学部 解剖学講座（発生生物学） 教授 藤田 幸 氏
<高齢者福祉分野>
「高齢者のサルコペニア・フレイルとホルモン」
東京大学大学院医学系研究科老年病学 准教授 小川 純人 氏

2. 主な研究助成・受賞テーマ

（1）研究助成

- <交通安全等分野>全11件
「疲れ目が歩行者の視認性へ及ぼす影響」
北里大学大学院医療系研究科医学専攻 博士課程大学院生 飯塚 達也 氏 他10件
<高齢者福祉分野>全24件
「ライフスタイルの変化に応じたオーラルヘルスアプローチによる引きこもり予防」
新潟大学医歯学総合病院義歯診療科 講師 長谷川 陽子 氏 他23件

（2）三井住友海上福祉財団賞

- <交通安全等分野>
① 財団賞 該当なし
② 財団奨励賞 該当なし
<高齢者福祉分野> 論文1点
① 財団賞 該当なし
② 財団奨励賞
「Whole-genome sequencing reveals novel ethnicity-specific rare variants associated with Alzheimer's disease（全ゲノム解析による新規日本人特異的に認められるアルツハイマー病発症に関連する変異の同定）」
国立長寿医療研究センター メディカルゲノムセンター 部長 重水 大智 氏

以上

三井住友海上福祉財団の概要

事務所	〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-9
設立	1975年 9月1日：住友海上福祉財団として発足 2001年10月1日：三井住友海上福祉財団と改称
主務官庁	内閣府
理事長	柄澤 康喜
基本財産	15億148万円（2023年3月31日現在）
沿革	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1975年9月に住友海上社の創業80周年を記念して設立されました。 ・ 財団設立以来、「交通安全等」と「高齢者福祉」両分野への累計助成対象は、2,320件、25億9千3百万円となります。 ・ 設立当初は、損害保険に関係の深い交通遺児や防災活動で殉職した消防士の遺族等への援護活動が中心でしたが、1980年代からは、交通安全の普及啓発活動への助成に重点を置くようになりました。 ・ さらに、わが国の高齢化の進展に合わせ、1991年からは高齢者福祉分野へ助成対象を拡大しました。時代の変化にともなって事業領域を拡げ、現在は、「交通安全等」と「高齢者福祉」分野の研究助成、施設助成、著作・論文表彰などの多岐にわたる活動を行っています。 ・ 2007年度から海外における研究者を対象とした研究助成を開始しました。現在の対象地域はタイ、台湾の2カ国で、2023年度は8件、約512万円^(※)を助成します。 (※) 助成金額は、暫定為替レートで計算しています。 ・ 新公益法人制度の下、2009年12月1日に「公益財団法人 三井住友海上福祉財団」に移行しました。 ・ 分野別では、近年、「高齢者福祉」が助成事業全体の約7割を占めています。